

豊明市行政評価制度 「施策」 評価票

施策評価票番号32

1 ■ 施策の概要

1－1 施策の名称	商業				基本施策コード	3－3－3	担当課評価	平成22年度評価 （前期の成果）	平成27年度評価 （全期間の成果）	● 施策評価の判定基準 A： 施策の目的を効果的に達成しているので継続する B： 施策推進の実施手法等に改善の必要がある
1－2 担当	部	経済建設部	課 又は施設	産業振興課	評価票作成者	産業振興課長 原田 昇				
1－3 総合計画における施策の体系	①節	都市基盤・産業振興「いきいきとした賑わいと活力あふれるまちづくり」								
	②項	産業振興								
1－4 施策の目的	商業の発展は、財政面だけでなく、便利で活気とうるおいのある市民生活に大きな貢献となる。									
1－5 総合計画における基本成果指標	基本成果指標名		前期（平成18年度～平成22年度）			全期間（平成23年度～平成27年度）			指標の定義 商業活性化を商工会会員数の加入状況から表す指標 商業の発展状況を表す指標	
			目標値（単位）	実績値（単位）	達成率（％）	目標値（単位）	実績値（単位）	達成率（％）		
	①	商店数	530（店）			530（店）				
	②	年間商品販売額	157,620(百万円)			165,501（百万円）				
	③									

2 ■ 施策推進の状況

2－1 施策全体に係る合計コストの推移（千円）		平成 1 8 年度	平成 1 9 年度	平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	平成 2 4 年度	平成 2 5 年度	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
	直接事業費	6,433	8,000								
	人件費	2,345	3,003								
	合計コスト	8,778	11,003								

3 ■ 施策の担当課による評価結果

3－1 評価結果	単年度 担当課評価	平成 1 8 年度	平成 1 9 年度	平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	平成 2 4 年度	平成 2 5 年度	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
		☒ 良好に進展 ☐ 良好でない	☒ 良好に進展 ☐ 良好でない	☐ 良好に進展 ☐ 良好でない	☐ 良好に進展 ☐ 良好でない	☐ 良好に進展 ☐ 良好でない	☐ 良好に進展 ☐ 良好でない	☐ 良好に進展 ☐ 良好でない	☐ 良好に進展 ☐ 良好でない	☐ 良好に進展 ☐ 良好でない	☐ 良好に進展 ☐ 良好でない
3－2 評価の内容		今後の環境変化を踏まえた課題認識			既存事業の構成や優先順位の考え方、新規事業の必要性の考え方			施策の担当課としての単年度の取り組みの自己評価			
	平成18年度	商店の商圏が、徒歩圏と車利用圏の二極化となる。			商店街の活性化には多額の投資が必要であり、公的補助が望まれる。			商工会への支援に留まっている。			
	平成19年度	〃			公的補助と自助努力を両輪としてやっていく認識が必要である。			〃			
	平成20年度										
	平成21年度										
	平成22年度										
	平成23年度										
	平成24年度										
	平成25年度										
	平成26年度										
	平成27年度										

4 ■ 参考情報

[illegible]